

新たな農業委員会制度が始まります



「農業委員会等に関する法律」が改正され、今年4月1日から施行されました。

これにより、農業委員会は、担い手への農地などの利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止、新規参入の促進など、農地の利用の最適化を積極的に推進することが大きな使命とされました。

今回の法改正では、農業委員会の主たる使命をより良く果たせるよう、次の4点の改正が行われました。

1. 農業委員会の事務の重点化

農地などの利用の最適化を推進することが最も重要な事務であることを明確化

2. 農業委員の選出方法の変更

地域の農業をリードする担い手が確実に農業委員に就任できるよう、選出方法を変更

3. 農地利用最適化推進委員の新設

主に合議体として意思決定を行う農業委員とは別に、担当区域における農地などの利用の最適化の推進のための現場活動を行う、農地利用最適化推進委員を新設

※農地利用最適化推進委員については、本町は、農林水産省の公告により同推進委員を置かなくてもよい市町村として指定されているので、同推進委員は置かないこととし、農業委員が同推進委員の機能を兼ねることとしています。

4. 都道府県農業会議および全国農業会議所の農業委員会のサポート組織としての機能強化

両組織を一般社団法人に移行して、都道府県知事または農林水産大臣が農業委員会ネットワーク機構として指定

今回の改正で一番大きく変更となったのが、上記2点目の農業委員の選任方法です。

- ア 公選制（選挙）を廃止し、
 - イ 町長が議会の同意を得て任命する方法に改め、
 - ウ その際、農業委員の過半数は、原則として認定農業者でなければならぬとしました。
- また、任命に当たっては
- エ 農業委員会の所掌事項に関し利害関係を有しない者を含めること、

オ 農業委員の年齢、性別などに著しい偏りを生じないように配慮することとされました。

これにより、町長は、農業委員の任命にあたっては、農業者、農業者が組織する団体その他の関係者に対し、候補者の推薦を求めるとともに、農業委員になろうとする者を募集することに なります。また、農業者でなくとも、農業委員に応募することができ、さらには、女性や青年を積

極的に登用することが求められています。

これら農業委員候補者の中から、農業に関する見識を有し、農業委員会が取り組む諸活動を適切に担える者を議会の同意を得て任命することになります。

また、地域の農業をリードする担い手の意見が的確に農業委員会の運営に反映されるよう、農業委員の過半数を認定農業者が占めることとなります。

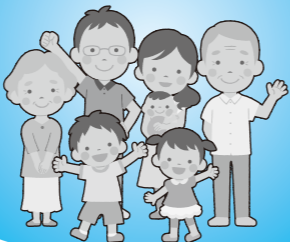
今回の法改正は、現農業委員の任期が終了する来年7月の改選に伴う、農業委員の募集、任命から適用となります。



農地の状況を確認する農業委員

■問合せ：農業委員会事務局 ☎76-2135

うちの子 よその子 みんなの子
みんなで育てる新十津川っ子



青少年健全育成町民会議

子どもたちへ

伝えたいこと

青少年健全育成町民会議

代表 笠井 正憲

大人になると「経験から学ぶだこと、人から教えられたこと、本を読んで知ったこと、昔からのことわざ」などから、人生において大切な教えが多々あることを知ります。しかし、今の忙しい時代にそれらのことが、自分の学びで手に入れるのは遅すぎると感じる人が多くあると感じています。

そこで今回は、自分を高める秘訣を一つお伝えしたいと思えます。それは幸せになる魔法の言葉「ありがとう」を意識的に声に出して使うことです。

言葉（ことば）を知っていますか？声にした言葉が、現実の事象に何らかの影響を与えたと信じられ、良い言葉を発すると良い事が起こり、不吉な言葉を発すると凶事が起こることです。

言葉にはエネルギーがあります。言葉で解決することが出来たり、うれしい気持ちにしたりできます。これは言葉の持つエ

ネルギーが感情や心に届くからです。これも言葉だと思えます。また、「口から出た言葉は現実化していく」「口から出た言葉は災いの元」と言われることもあります。

今、この文章を読んでいる方はどのよう感じていますか？二通りあると思います。

- ①なるほど、良い言葉を選んで口にすれば良い事は起こるんだ。
 - ②なるほど、あまり口を利かない方が良いんだ！口にすると災いをもたらすから。どうでしょう？この二つは真逆な受け取り方ですね。
- 私は今の子どもたちを見ていて「コミュニケーションが不得意な子が増えているのは、言葉で伝えないからなのかなあ、今まで嫌なことがあったり、言動を制限されたり、電子機器での単語のやり取りだけで、話したことが少なかったせいなのかなあ」とも思っています。

言葉はとても大きなエネルギーを持っていて、意識して言葉を口にしてくださいね。意識してエネルギーの高い言葉を発してください。「感謝、愛、

ありがとう！



思いやり、優しさの言葉」などです。逆に、エネルギーの低い不吉な言葉とは「悪口、批判、中傷する言葉」です。大事なことは意識して言葉を選ぶことです。これは習慣になりますので、早く気が付いて小さい頃から話している、その言葉を多く口にしますからどんどんよくなります。

私のことを書きますね。私は若い頃に営業職をしていました。その時「すみません」を連発していました。何にでも「すみません」が口を開くと出てくるのです。いつも謝っているように聞こえますし、エネルギーが低い言葉で嬉しくありませんね。

口癖になっていくとなかなか直りませんので、早いうちに意識して「ありがとう」を言うようにしてほしいと切に願っております。

「ありがとう」は、幸せになる最強の言葉です。

最後まで読んでいただきありがとうございます。

秋の下校時安全指導実施

平成28年9月26日（月）
27日（火）

新十津川小学校児童の下校時における安全指導を、通学路要所7カ所で実施しました。町民会議理事の参加はもちろんです。今回も安全・安心推進協会、女性団体連絡協議会、老人クラブ連合会、民生委員児童委員の会、そして、地域の皆さん、総勢76人のご協力をいただきました。

参加された皆さんから子どもたちへの声かけや見守り、そして、子どもたちからのあいさつ。お互いの心がふれあう安全指導でした。



指導いただきました関係者の皆さんに感謝いたします。